

屋号・弥右工門でブランド化 カリウム豊富な柿茶で健康に



庄内柿（平核無柿）



庄内柿（平核無柿）

以前は、特別栽培米が主力であったが、高齢化により辞めた柿生産農家の園地を引き受けていることから、柿生産量の増加とともに、干し柿が当社の主力商品となりつつある。

また、当初開発を予定していた「干し柿チップス」は、柿の収穫と「健康新品」の販売しており、特に北海道と関西方面での売れ行きが好調となっている。

大丸、東急百貨店などのイベントで販売しており、特に北海道と関西方面での売れ行きが好調となっている。また、商品化に向けて検討している。



弥右工門ブランドの干柿



佐藤憲夫さん



カリウム、ビタミンCが豊富な柿茶。ティーパックなので手軽で飲みやすい。

取組みの成果

弥右工門「健康柿茶」は、産直あぐり（鶴岡市）、やまぶし温泉ゆぽか（鶴岡市）、その他の産直施設や東京銀座の山形県アンテナショップおいしい山形プラザなどで販売している。

分析した栄養成分の数値を確認している人も多く、健康に気を遣っている人やお土産としてもらった人が飲み続けるためにリピーターとなっていることもあり、評判も徐々に上がってきています。

また、当初開発を予定していた「干し柿チップス」は、柿の収穫と「健康新品」の販売しており、特に北海道と関西方面での売れ行きが好調となっている。

大丸、東急百貨店などのイベントで販売しており、特に北海道と関西方面での売れ行きが好調となっている。また、商品化に向けて検討している。

以前は、特別栽培米が主力であったが、高齢化により辞めた柿生産農家の園地を引き受けていることから、柿生産量の増加とともに、干し柿が当社の主力商品となりつつある。

平成26年度6次産業化総合化事業計画認定

エヌ・Kファーム株式会社（鶴岡市）

事業名 「柿の芽茶」・「干し柿チップス」の新商品開発及びブランド化事業

エヌ・Kファーム株式会社は、佐藤代表の夫である佐藤憲夫さんが、栽培・生産している安心・安全にこだわった米と天日干しでじっくりと自然乾燥させた干し柿の販売部門として、平成25年7月に設立した。

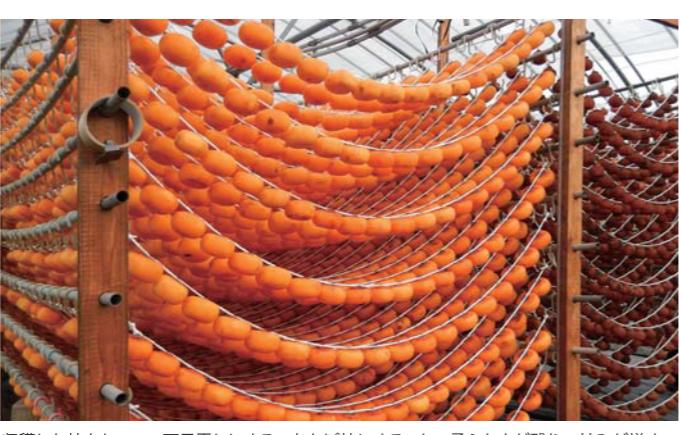
庄内柿（平核無柿）の产地である当地域でも高齢化が進んでおり、摘菫摘果や草刈りなどの柿畠の管理や収穫時の作業がきついとの理由から、園地を引き受けてほしいとの依頼が増えており、年々栽培面積や干し柿の製造を拡大してきている。こうした中「この地域の年配者は昔から柿の葉をお茶にして飲んでいるが、それは理由があるのではないか。干し柿には様々な栄養素が含まれているのだから、もしかしたら柿の葉にも栄養素があるのではないか。」と考えるようになつた。そこで、柿の葉の成分について専門の調査機関で調べたところ、カリウムやビタミンCが豊富なことを確認できることから、これまで捨てていた柿の葉をお茶として商品化する取組みを行うことにした。

ハウス栽培によりミニトマトの生産もしているが、規格外となつてしまつた完熟トマトをドライトマトとして販売することを計画しており、商品化に向けた試作品開発なども行つている。干し柿チップスも、時期を見ながらできるだけ早く挑戦したいと考えている。全国的に米の消費が減少していることから、今後は柿に主力を置いて生産、加工販売していくと考えており、そのため柿を天日干しする場所も新たに確保している。

高齢化により、辞めてしまうことが予想される柿生産農家の園地を維持し、これからも庄内の特産品である柿を守つていきたいと考えている。

今後の事業展開

ハウス栽培によりミニトマトの生産もしているが、規格外となつてしまつた完熟トマトをドライトマトとして販売することを計画しており、商品化に向けた試作品開発なども行つている。干し柿チップスも、時期を見ながらできるだけ早く挑戦したいと考えている。全国的に米の消費が減少していることから、今後は柿に主力を置いて生産、加工販売していくと考えており、そのため柿を天日干しする



収穫した柿をむいて、天日干しにする。あんぽ柿にすることで柔らかさが残り、甘みが増す。

事業者概要



エヌ・Kファーム株式会社

代表者 佐藤 京子
住所 鶴岡市羽黒町荒川字白山67
電話 0235-62-3424
FAX 0235-62-3424
URL <http://www.paw.hi-ho.ne.jp/yaemon/>

6次産業化の取組に至った経緯

6次産業化の取組内容

お茶の原料となる柿の葉は、5月20日頃から6月上旬に行う芽かき作業の際に切られた枝から、手作業で摘み取った若葉（萌）を使用する。

この若葉（萌）は、これまでにはそのまま廃棄されていたものだが、この摘み取った若葉（萌）を自社内で丁寧に乾燥し、それを専門業者に委託して、

テトラ型のティーパックに詰めてもらいうことで商品化することができた。

商品名は、分かりやすいように「健康柿茶」とし、1セット20個入りの箱詰めタイプで販売することにした。

当社の柿茶に含まれる栄養成分については、成分分析結果をパッケージに表示することで、これを手にしたお客様が商品の特徴をすぐに理解できるよう、他商品との差別化を図つて

いる。

また、当社の加工商品である柿茶と干し柿は、昔からの佐藤家の屋号である「弥右工門」（商標登録済）を使用し、柿を使った共通商品とのブランドイメージを構築している点も特徴となつている。